

小樽南ロータリークラブ会報

よいことのために
手を取りあおう

Rotary



■ 齋藤仁会員 卓話

2025-2026年度R1第2510地区目標

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 会員増強 | 5. 女性会員増強 |
| 2. クラブ活性化 | 6. 会員研修充実 |
| 3. 奉仕活動推進 | 7. 紛争予防と平和推進 |
| 4. 若い世代とのつながり強化 | 8. ロータリー財団活動強化 |

My Rotary
2510地区ホームページ
ICT委員会Facebook
各委員会へのメール



2025-2026年度 地区活動方針
Revival (リバイバル)
～原点に立ち返り、未来への繁栄へ～

- 例会場：オーセントホテル小樽 ● 例会日：毎週金曜日 12時30分
- 事務局：〒047-0032小樽市稲穂2-15-1 (オーセントホテル内) TEL.0134-27-8123 FAX.0134-26-6935
- Club Homepage : URL <https://rid2510.org/otarusouth/>

1960年創立
昭和35年2月5日

24

2026年3月6日発行
通巻第3121号

今週
3月13日
● 山下秀治会員 卓話

来週
3月20日
● 休会
3月21日
● インターシティミーティング
再来週
3月27日
● 通常例会

■ ロータリーソング【それでこそロータリー】

■ 会長挨拶【佐藤友美会長】



先週末から中東情勢にさまざまな動きがあり、全体的に不安定な空気が広がっております。原油価格の上昇やガソリンスタンドへの人の集中、天然ガスの問題など、明るい情報がなかなか入ってこない一週間でございました。

そのような中、本日例会に出席するために通路を歩いてまいりますと、向こうに立っている新保さんの顔が目に入りまして。その瞬間とても嬉しい気持ちになり、思わず手を振ってしまいました。さまざまなことがある中でも、こうして例会に来て、今日はずっとより少し多くの皆様にお集まりいただいている様子を拝見し、やはりこの例会に来ると気持ちが落ち着き、安らぎを感じられるのだと改めて思いました。十数年を経て、私自身もそのように感じられるようになったのだと思っております。

本日は、特に楽しい卓話を伺えることを私自身大変楽しみにしてまいりました。皆様の中にも、それぞれ大変な日常を送っておられる方がいらっしゃると思いますが、今日この一時間の例会が、少しでも安らぎを感じられ、仲間意識を深め、友とともに過ごす楽しい時間となれば幸いに存じます。

残り四か月となりましたが、これからも皆様にとって例会がそのような心安らぐ場となるよう、心掛けてまいります。

残り四か月となりましたが、これからも皆様にとって例会がそのような心安らぐ場となるよう、心掛けてまいります。

■ 幹事報告

① 例会プログラムのご案内

本日の例会は齋藤仁会員による卓話です。また、次週は先日ご著書を出版された山下会員に卓話をいただく予定となっております。皆様、ぜひご期待ください。

② IM(インターシティ・ミーティング)の出欠確認

3月21日に開催されるIMにつきまして、出欠の回答をお願いしております。ご案内が間際となり恐縮ですが、本日、口頭またはメールにて出欠をお知らせさせていただきますようお願いいたします。

③ 「小樽学びコンソーシアム」連携例会の開催について

3月27日(金)の例会は、小樽学びコンソーシアムから

の依頼に基づき、新しい試みとして開催いたします。当日は小樽市内の高校生が例会に参加し、皆様と同じテーブルでランチを共にしながら、職業や会社の事について直接お話を伺いたいという要望をいただいております。

④ 横浜中ロータリークラブ 50周年記念式典について
6月12日に横浜中クラブの50周年記念式典が開催されます。当日は主要メンバーの多くが台湾遠征中であり、翌日には余市クラブの周年行事も控えているため、クラブとしての参加は困難な状況です。

現在、横浜在住の佐藤勉会員が出席して下さる予定ですが、他にも参加を希望される方がいらっしゃいましたら、事務局までご連絡ください。

⑤ RYLA(ライラ) セミナー参加者募集のお知らせ
地区の青少年育成プログラム「RYLAセミナー」が、5月15日～17日に洞爺湖のキャンプ場で開催されます。参加希望は幹事までお申し出ください。

■ 出席報告

2026年3月6日

総会員数51名 欠席者数11名

伊早坂、工藤、齋藤(英)、佐藤(公)、佐藤(勉)、馬場、吹田、松尾、松浦、宮川、水谷



会員誕生祝

齋藤 義孝 会員 山下 秀治 会員

伊早坂 拓歩 会員 岡崎 芳明 会員

おめでとうございます

■委員会・同好会報告

【ロータリー財団委員会 鈴木崇史委員長】

本日は、ロータリー財団の目的に基づくご寄付のお願いを申し上げます。

年次基金ならびにポリオ・プラス基金へのご寄付につきまして、会員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

寄付額につきましては、年次基金としてお一人10,000円、ポリオ・プラス基金として2,000円、合計12,000円をお願いしております。

来週より、エレベーター前にて受け付けをさせていただきますので、何卒よろしくようお願い申し上げます。

例会プログラム

■齋藤仁会員 卓話



この度、私は『姉弟』という自伝的エッセイ小説を上梓いたしました。ジャンルはいわゆる大衆小説で野心を持って「将来は直木賞か」などと冗談を申しております。版元は新宿の文芸社で、本年1月15日に全国発売となりました。配本は選ばれた書店のみですが、Amazon等のネット販売では元日から取り扱いが始まっており、中山幹事には発売早々にお買い上げいただきました。5月には初めての印税が入る予定で、いよいよ「印税生活」の仲間入りかと胸を躍らせております。本作は、過去に諸先輩方が出版された私家版とは異なり、ISBNコードが付いた正規の流通書籍です。この執筆のきっかけの一つに、工藤先生との対話がありました。文学の専門家である先生に「なぜ小説を書かないのですか」と問うた際、「分析や批評はできるが、創作は全く別ジャンルなのだ」と仰ったことが強く印象に残っています。ならば、専門教育を受けていない自分だからこそ書けるものがあるのではないかと考えたのです。

書名の『姉弟』は、私の大叔母（父方の祖母の妹）である昭和の女流作家・畔柳二美の代表作『姉妹』から着想を得て名付けたものです。彼女は明治45年に生まれ、昭和40年1月13日に52歳で没しました。奇しくも

その命日は私の6歳の誕生日であり、不思議な縁を感じずにはられません。彼女の出身地である千歳市立図書館には常設コーナーがあり、そこにある彼女のポートレートは亡き祖母に生き写しです。彼女の『姉妹』は昭和29年に毎日出版文化賞を受賞し映画化もされました。野添ひとみさんや中原ひとみさんが出演した当時のポスターを今見てもその華やかさが伝わります。劇中に登場する人物の中に私の祖父がモデルになった方がおり、私の作中でも敬意を込めて名を引用させていただきました。

本作の内容は、早逝した姉と両親との思い出が中心です。執筆は母が他界した2017年から始めました。母は語り部のような人で、幼い私たちに耳なし芳一や牡丹灯籠を読み聞かせ、物語を刷り込んでくれました。そのおかげか私は幼少期の記憶が鮮明です。同年代の友人からは「子供の頃の記憶などない」と言われることもありますが、私は母の話を通じて、当時の風景を自分の中に定着させていたのかもしれませんが。執筆にあたっては、まず大叔母の『姉妹』を道立図書館から借り出し、全ページをパソコンに書き写すことから始めました。物語の構成やリズムを身体に叩き込み、自分の経験に置き換えていく作業です。舞台は昭和34年から41年まで過ごした炭鉱の街・美唄。当時の写真を見返すと、そこには美少女だった姉と、ダンスの素養を感じさせる美少年の私が写っています。

小説として成立させるため、あえて書かなかったこともあります。昭和の家庭ですから当然親に叱られたり殴られたりといった負の側面もありましたが、読後に温かい気持ちになってもらうためあえて「ほんわか」したエピソードを中心に脚色しました。完成後、いくつかの文学賞に応募しましたが結果はすべて選外。しかし文芸社から「昭和のタッチが面白い。一定の層に受ける」と評価をいただき、出版に至りました。プロの編集者による厳密な校正を経て一冊の本が出来上がる過程は非常に刺激的でした。

ありがたいことに読売新聞の新刊コーナーで紹介されたり、中山幹事のラジオ番組に呼んでいただいたりと、反響をいただいております。皆様からは「続編は？」との声を多く頂戴しており現在は「小樽編」の構想を練っているところです。思春期を迎える小樽での日々は、単なる温かい話だけでは済まないかもしれませんが、それもまた人生の真実として描き切りたいと考えています。一流の士業の方々には、常に知識をアップデート（上書き）されるため幼少期の記憶が薄れると聞きますが、私は幸か不幸か勉強をしてこなかった分、古い記憶がそのまま残っています。この「上書きされていない記憶」を武器に、年内には次作を書き上げる所存です。今後とも、バックアップのほどよろしくようお願い申し上げます。

まごころ箱・・・いつも有難うございます！

佐藤（友）会員…今日は歌って踊れる作家、齋藤先生卓話ありがとうございました。第2弾待っています。

齋藤（仁）会員…卓話ありがとうございました。

齋田 会員…3月10日で80歳を迎えます。70代はあつという間の10年でした。80代はどこまでいけますやら

田中（沙）会員…誕生日受け取りました。ありがとうございました。

湊 会員…お先に失礼します。

山下 会員…誕生日ありがとうございました。

入金集計額 令和7.7.1～令和8.3.6 (14,500円)

合計513,500円